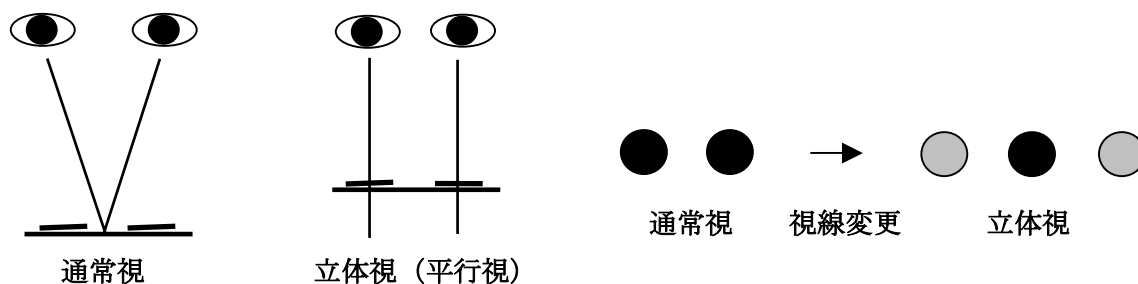


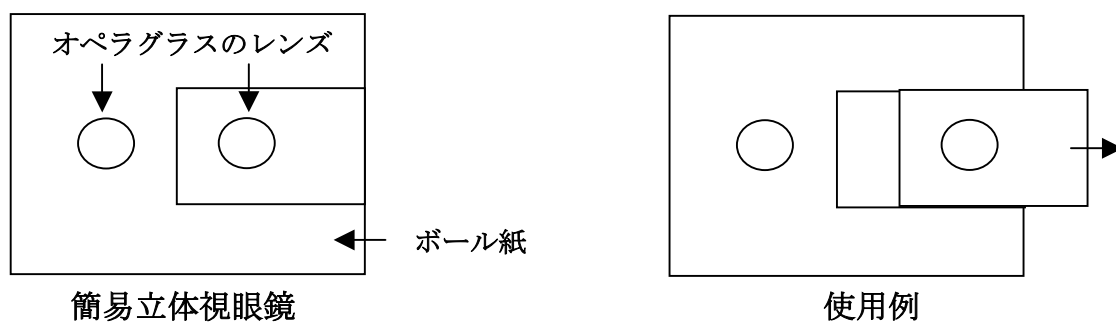
画像を立体的に見るには

裸眼で画像を立体的に見る行為（立体視）は、目をコントロールする技術です。普通に画像を見る行為（通常視）とは異なるため、若干の練習を必要とします。



皆さんの眼は、遠方を見るとき、左右の眼の視線方向が平行になります。この平行な視線の方向を保ったままで、左眼は左の写真を、右目は右の写真を見ることにより、写真が立体的に見えるようになります。慣れれば簡単ですが、最初は左眼が左の写真だけを、右眼が右の写真だけを見るように、左右の写真の間に垂直に厚紙を立てると見やすくなります。

見えない方の多くは、見方が分からないだけです。写真全体を見ないように意識することがポイントです。どうしても見えない方は、展示してある立体視鏡や、オペラグラスのレンズとボール紙を使って作った簡易立体視眼鏡などを使うと簡単に見えるようになります。



立体視眼鏡を通して画像を見て、ピントの合う位置で眼鏡の片方のレンズを少しずつ横にずらしていき、左右の人物が重なるように見えるとき、画像が浮き出して立体的に見えるようになります。

立体視眼鏡は簡単に作れるので、ご自宅でも作ってみてはいかがでしょうか。